



南条っ子

南条小学校だより

南条っ子は

進んで学ぶ子

R2.5.7

No.2

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成



○ 入学式などの延期について

4月30日(木)、町と教育委員会による新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、当面の間、町内小中学校の臨時休業を延長することが決定されました。

また、同時に、5月7日(木)に予定していた入学式、始業式、登校日等についても、ゴールデンウィーク明け2週間の県内の感染状況を慎重に観察したうえで、5月21日(木)以降に実施していくことも決定されました。(入学式の実施日につきましては現在未定で、決まり次第、早めに緊急メールでご連絡致します。)

子どもたち、お家の方、学校の職員も、久しぶりに学校生活が始まるということで、5月7日を楽しみにしていたと思いますが、残念ながら、臨時休業が再度延長になってしまいました。しかしながら、今は、とにかく耐える時です。命より大切なものはありません。今は、健康第一、命をしっかり守りましょう。

今がどんなに辛くても、「明けない夜はない。」「やまない雨もない。」「過ぎ去らない嵐もない。」「・・・」「どんなつらいことも、必ずいつか終わる」ということです。

明けない夜はありません。夜は、静かで暗くて怖い。不気味で不穏な空気に包まれますが、しばらくの辛抱です。どんなに真っ暗の闇であっても、いずれ夜が明けます。小鳥たちがさえずり始め、人々の動きが活発になります。明るい日差しが照りつけるようになり、世界が一変するのです。

やまない雨もありません。たたきつけるような大きな雨粒に恐怖を感じても、もうしばらくの我慢です。土砂降りの豪雨でも、いずれ雨はやみます。雨がやんだ後は、きれいな青空が広がっているでしょう。

過ぎ去らない嵐もありません。雨がザアザア降って、風がビュービュー吹いて、雷がゴロゴロ鳴っていても、しばらくの辛抱です。どんなにひどい嵐でも、いずれ過ぎ去ります。嵐が過ぎ去った後は、澄み切った空気と素晴らしい景色が広がっているでしょう。

いつ終わるのかわからなくても、今はじっと耐えましょう。必ず明るい未来が待っていると信じて。

<保護者の方にお願ひ>

臨時休業中に親ができること(協力していただきたいこと)

1 めあてを設定する

臨時休業期間が延長になり、まず取り組んでいただきたいことは、これまでの臨時休業の期間の過ごし方を振り返るとともに、今後をどのようなものにするかを子どもと一緒に考えることです。それぞれの家庭の状況(親が仕事を休めないことがあるなど)を伝えた上で、子ども

がどういった意識でこの期間を過ごしていくと良いのかについて、家族全員であらためて考えていただきたいと思います。

親が大変な状況であることを伝えることも必要ですし、その期間は本来学校があれば学習する時間であることを伝える必要もあるでしょう。子どもだけの問題、親だけの問題ではなく、「家族みんなの問題」としてどう乗り切っていくのかについて考えていくことが大切です。

子どもが小学校低学年など小さい場合は、親が不安に思っている以上に子どもは状況を理解していますし、考える力もあります。ぜひ子どもに投げかけていただきたいと思います。

通常の長期休業の場合、こういったことは学校で行いますが、今回は非常にバタバタしたまま急に休校になってしまったので、家庭でフォローする必要があるのです

2 生活リズムを作る(見直す)

学校がある日々は、毎日決まったリズムで子どもは過ごします。朝、決まった時刻に起き、登校します。学校では午前中に45分の授業を4回取り組み、その後に昼食、そして午後にはまた1～2回の授業に取り組み、下校となります。休みになるとこのリズムが崩れてしまいがちです。このようなことを避けるため、家庭で学校の時間割のようなものを作ることをお勧めします。そうすることで、本来取り組むべきスケジュールと同じように生活する目安となります。

また、いつもとは違った特殊な状況なので、この時期だけの「特別ルール」を作りましょう。例えば、通常学校にいる時間(午前8時から午後3・4時まで)はゲームをしないなどといったルールです。それを適用するのは、学校があるはずである平日のみにすると良いです。家庭の状況によってもそれぞれ違いますので、子どもと話し合いをしながら決めてください。

これらのルール作りにおいては、親が一方向的に決めないことが大切です。ある程度の状況の説明(本来は学校があり、勉強をしている時間である、終わっていない課題があるなど)をした上で、子どもに決めさせましょう。

3 学習を続ける

臨時休業中もしっかりと学習を続けましょう。今回、教職員がとても悩ましく感じているのは、学習に関することです。臨時休業中の課題は、学校が指示していますが、それだけでは十分ではありません。そこで保護者の方の役割が重要になります。

学習に関しては、学校からの指示があった課題を優先的に取り組ませてください。必ず進捗状況のチェックを行うとともに、もしきちんと取り組めていないようであれば、簡単に説明してあげると子どもの理解が深まるはずですよ。

また、市販のドリルもおすすめです。その子どもの学習状況に応じてドリルを選んでください。市販のドリルは難易度に違いがあるため、その子どもの学習の状況(算数は得意、漢字は苦手など)に応じて、ドリルを選んでいくと良いでしょう。

また、ネットを使った学習関連の教材が非常に増えてきています。ネット教材は間違えた問題に何度も繰り返し取り組むことが容易であり、その学年の学習内容の確認・復習のための個に応じた取り組みが可能です。普段は有料の教材でも、臨時休業中は特別に無料で取り組めるようになっているものもあります。(各学年だよりでの紹介を参考にしてください)

ネット教材などで、教科書の枠の外にある学びに取り組むことも良いでしょう。昆虫、天体、漢字、パズルなど、それぞれの子どもが好きなことにも、通常の学校がある時期に比べてさらにじっくりと取り組み、その能力を伸ばしていくことができます。これはネット教材だけでなく、少し厚めの本を読むことなども同様です。ぜひ、いろいろとお試しくささい。